

| 優先的に取り組むもの／交通マナー・ルールの普及・啓発を目的として、できることから取り組む | |
|--|---|
| 提案名 | ①交通ルール・マナー学習機会の強化・拡大 |
| 地域課題 | 自転車危険・違反運転の増加、交通事故の増加・深刻化 交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在 |
| 解決の方向性 | 事故の危険性を再認識していただくことによる意識啓発 世代に応じた取組の強化・拡大 |
| 取組内容 | <p>◎世代や対象に応じた啓発機会の拡大（交通安全教室の拡大）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 子ども・保護者→保育園・幼稚園の参観日や家庭教育学級などの「場」を捉えた取組 ➤ 高齢者→老人会などで企画する交通安全教室の推進、開催の支援 ➤ 現役世代→企業や事業所等への参加・協力の呼び掛け、連携など <p>◎スクエアドストレート方式の交通安全教室の拡大</p> <p>※スクエアドストレート方式＝スタントマンにより交通事故の再現し、恐怖を実感することで、ルールとマナーの大切さを学び、事故につながる危険行為を未然に防ぐ教育手法—交通安全教室の方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小中高生を対象に実施されている教室（年3回）の対象者の拡大や開催回数の増加 ➤ 企業等への会場提供等の協力依頼、連携、参加呼び掛けなど ➤ 小学生や保護者をはじめ、多くの区民が参加・体験しやすい日時・会場の設定（機会の拡大） ➤ スクエアドストレート方式の交通安全教室の映像化し、啓発用の資料を作成 ➤ 深刻な事故事例、区内事故件数等の実態などの広報 ➤ 既存のイベントやキャンペーンとの同時開催の検討 |
| 今後の検討課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の開催支援の方法、現役世代へのアプローチ方法など ・会場・予算の確保、広報、対象など |
| 担い手 | [実行主体・協力依頼対象団体の候補] 町内会・自治会、交通安全関係団体、区PTA協議会、地域教育会議、区役所関係部署など |
| 取組スケジュール（案） | <p>〔平成28年度～ ※できることから取り掛かる〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象や手法などの検討（既存の取組との連携など） ・広報・周知、企業等への協力・参加呼び掛け ・交通安全教室の開催 |

| 優先的に取り組むもの／交通マナー・ルールの普及・啓発を目的として、できることから取り組む | |
|--|---|
| 提案名 | ②「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用 |
| 地域課題 | 交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在 小杉駅周辺に特に多いベビーカーの買い物客 |
| 解決の方向性 | 交通ルール・マナーの普及・啓発 ゆずりあう、配慮し合うことによる「安心して通行できる環境づくり」の呼び掛け |
| 取組内容 | <p>◎啓発標語の募集、ポスターコンテスト等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 交通マナーやルールの標語やポスターを一般参加のコンテスト形式で公募 ▶ 中原区まちづくり推進委員会による『マナー・モラルアップポスター作品集』の活用や「社会を明るくする運動」や四季の交通安全運動等における標語やスローガンの募集との連携 ▶ 学校長期休暇を利用した作品募集、川柳の募集など多世代が参加できるしくみ ▶ 既存のコンテスト等との連携の推進 ▶ 表彰式の開催、入賞作品の展示会などを開催し、多くの区民に周知を図る <p>◎啓発資料の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中原区らしさ、分かりやすさ、読まれやすさを重視し、イラスト等を効果的に使用した啓発資料の作成（子どもや外国人にも伝わりやすいものを目指す） ▶ 目に留まる・残る啓発資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・しおり・マグネット・カレンダー・路面標示など、実現性や予算、形式等を考慮して検討(例:川崎信用金庫「川崎ジュニア文化賞 絵画の部 受賞作品カレンダー」) ▶ 学校や、区民の集まるイベント等で配布 <p>◎ベビーカー利用のマナーや周囲のベビーカーへの配慮・啓発資料の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 国交省「公共交通機関におけるベビーカー利用に関する協議会」の資料の活用 ▶ ベビーカー利用者にマナーを促す資料（例：横列通行・ながら通行をしない等）を作成し、子育てサロン、乳幼児検診の場等で配布 ▶ ベビーカーへの配慮を促す資料を作成し、駅周辺、子育て施設、商店等で掲示 |
| 今後の検討課題 | <p>①参加型・公募型の仕組みによる啓発資料…コンテストの形式、募集方法・対象・機関</p> <p>②啓発資料の作成…資料の形式・作成方法など</p> <p>③ベビーカー利用のマナー、周囲の配慮の啓発資料…国交省資料の活用方法、掲示場所や許可申請など</p> |
| 担い手 | [実行主体・協力依頼対象団体の候補] 中原区まちづくり推進委員会（マナー・モラルアップ事業による表彰）、子育て関係団体、交通安全関係団体、区役所関係部署など |
| 取組スケジュール（案） | [平成28年度～ ※できることから取り掛かる] ・既存の啓発資料（国交省関係協議会）活用の検討、掲示場所の調整、作成、掲示 ・（参加型の）標語などの募集、実施体制等、団体への働きかけなど、手法の検討 ・啓発資料の作成・活用、コンテスト・表彰式の開催など |

| 拡大を目指して取り組むもの／さらに多くの区民に取組を拡げ、「みんなで」交通マナーを育む | |
|---|--|
| 提案名 | ③「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベント |
| 地域課題 | 自転車危険・違反運転の増加、交通事故の増加・深刻化 交通ルール・マナーを知らない、または意識が低い区民の存在 |
| 解決の方向性 | 多様なメディアを通じたアピール、取組への認知の拡大 参加団体・活動団体の交流、相互情報交換による活性化 |
| 取組内容 | <p>◎普及啓発を推進するためのしくみづくり・キャンペーンの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「みんなで育てる交通マナー」の言葉を活かして実施 ➢ サイクルの日（3/19）、二輪の日（20日）を設定することによる定期的な意識づけや啓発の強化期間の設定 ➢ サイクルの日、二輪の日などの特定の日や啓発の強化期間の設定に併せた、一斉活動の展開や広報など ➢ 広報大使の任命（知名度のある人や地域のイベントに参加・協力できる人）、活用（広報大使を通じたPR） <p>◎発表・交流の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 取組の内容や成果の周知、体験機会の創出 ➢ 既存のイベント等での出展やステージでの発表など、体験機会の創出例）区民祭や区民会議市民報告会などの場の活用 <p>◎自転車安全点検などの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ イベント等で自転車の安全点検（タイヤ・ブレーキ・ライト）の一斉実施（自転車販売業者等との連携） ➢ 「点検済シール」「安全運転宣言」などの啓発シールの作成、配布 ➢ 自転車保険加入の機会等として捉えてPR（自転車保険会社等との連携） →「自転車安全運転者証」の取組等に向けた検討 |
| 今後の検討課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン期間の設定 ・実施内容。手法の検討、活用するイベントの設定 ・関係団体への協力依頼 点検基準・方法の設定など |
| 担い手 | [実行主体・協力依頼対象団体の候補] 自転車販売業者及び業界団体等、既存イベントの実行主体 |
| 取組スケジュール (案) | <p>【平成28年度～ ※できることから取り掛かる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体との調整、広報大使への依頼内容の検討（就任依頼、調整等） ・既存のイベント等の連携等の検討（主催団体への働きかけなど） ・キャンペーン、イベントの実施に向けた検討 |